

# 7 クルマ利用に関する意向

## 1. 行政区別のクルマ利用に関する意向

- 大阪市内の行政区別に、クルマ利用を控える理由の構成比をみると、いずれの区においても「一番のエコだから」がもっとも多く、全体の約6割を占めています。
- 次いで、「クルマ以外で遊びに行った方が休日をゆっくり楽しめるから」が約2～3割と多くなっています。

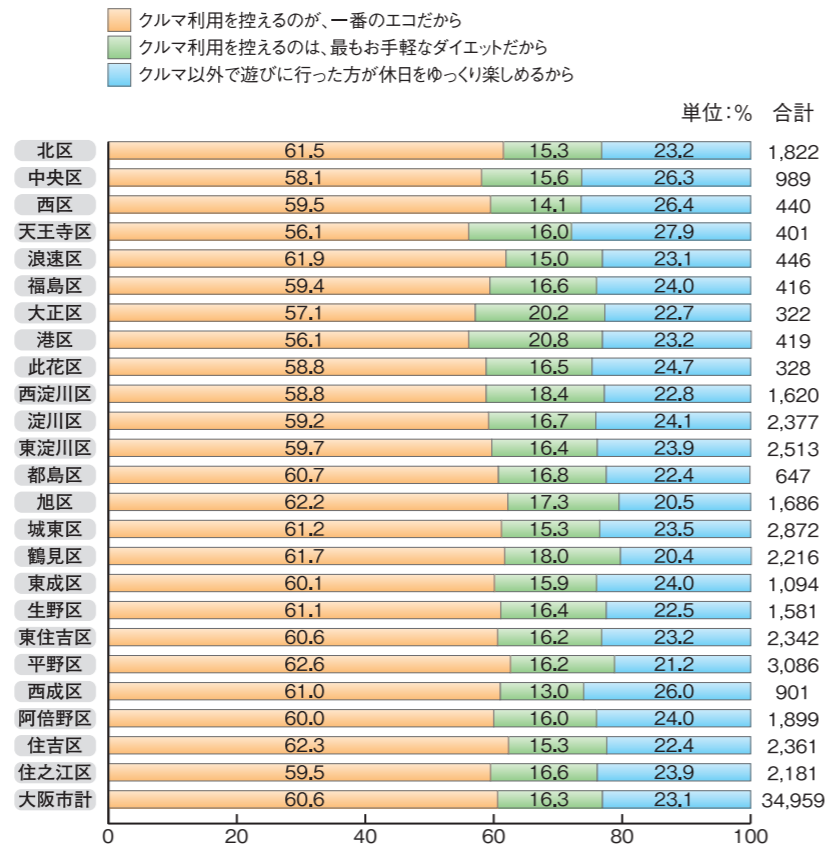


図40 行政区別のクルマ利用を控える理由の構成比(平成22年)

- 大阪市内の行政区別に、クルマ利用を控えることに対する意向の構成比をみると、いずれの区においても、クルマを利用している人のうちの約9割が減らす意向を持っていることがわかります。
- 大阪市内で自動車の分担率が高い住之江区(平日で16.9%)と鶴見区(休日で40.0%)においても、他の区と同様に約9割が減らす意向を持っています。

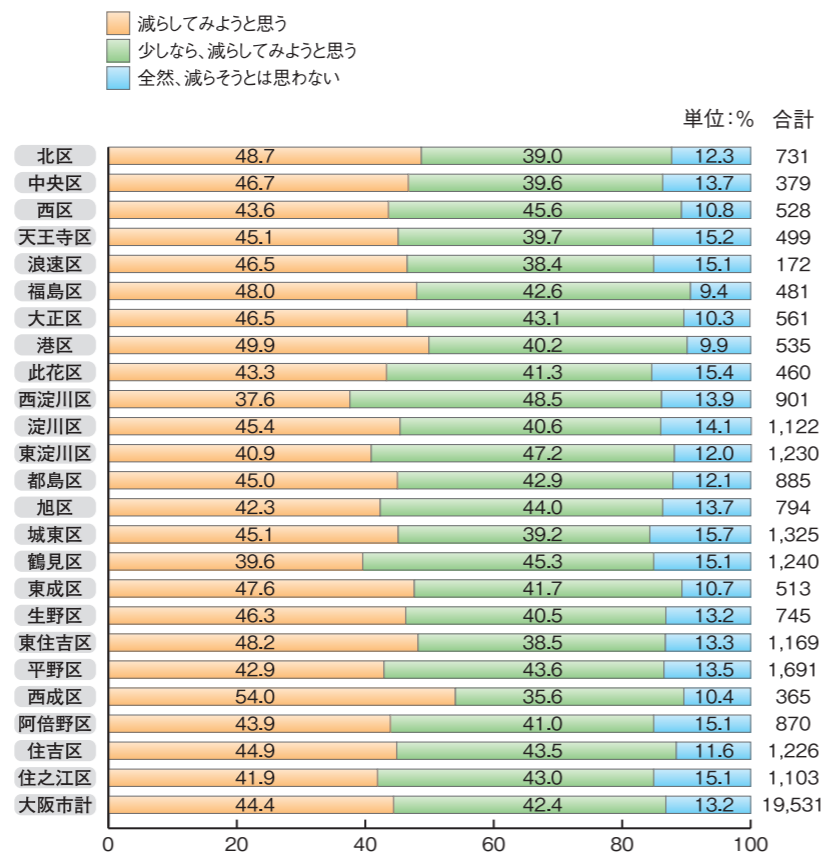


図41 行政区別のクルマ利用を控えることに対する意向の構成比(平成22年)

## 2. 性別・年齢階層別のクルマ利用に関する意向

- 性別・年齢階層別にクルマ利用を控える理由の構成比をみると、男女とも「一番のエコだから」がもっとも多く、全体の約5～8割を占めています。
- 男性・女性を比較すると、男性では「クルマ以外で遊びに行った方が休日をゆっくり楽しめるから」の割合が高く、女性では「最もお手軽なダイエットだから」の割合が高くなっています。

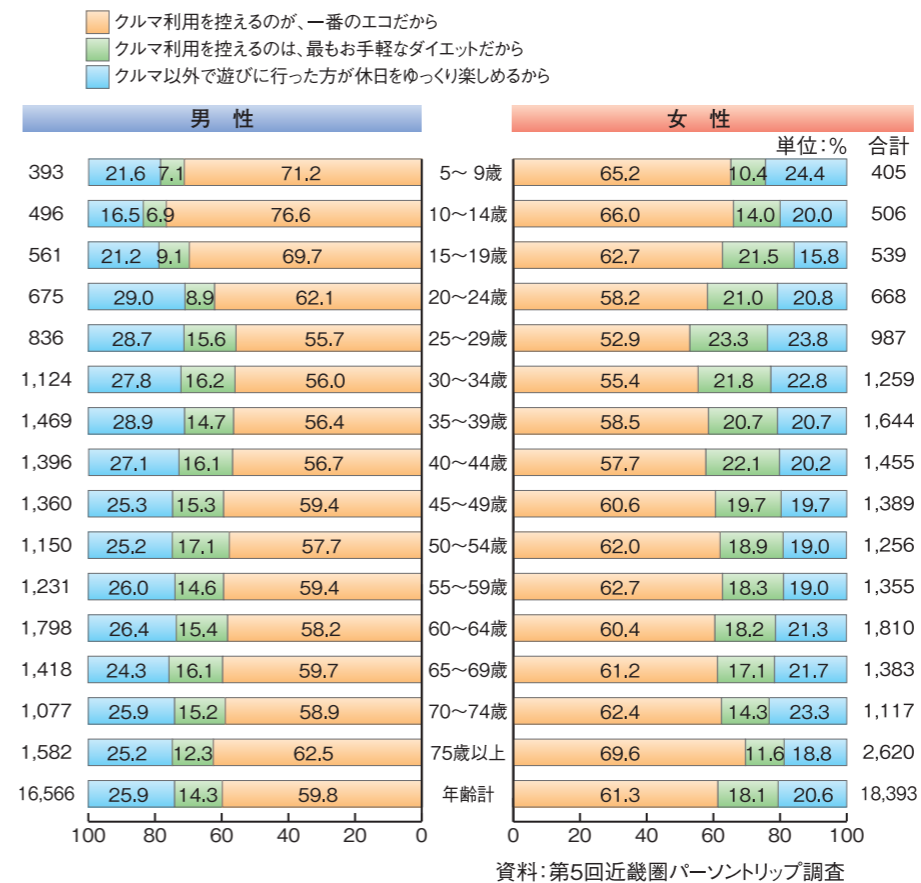


図42 性別・年齢階層別のクルマ利用を控える理由の構成比(平成22年)

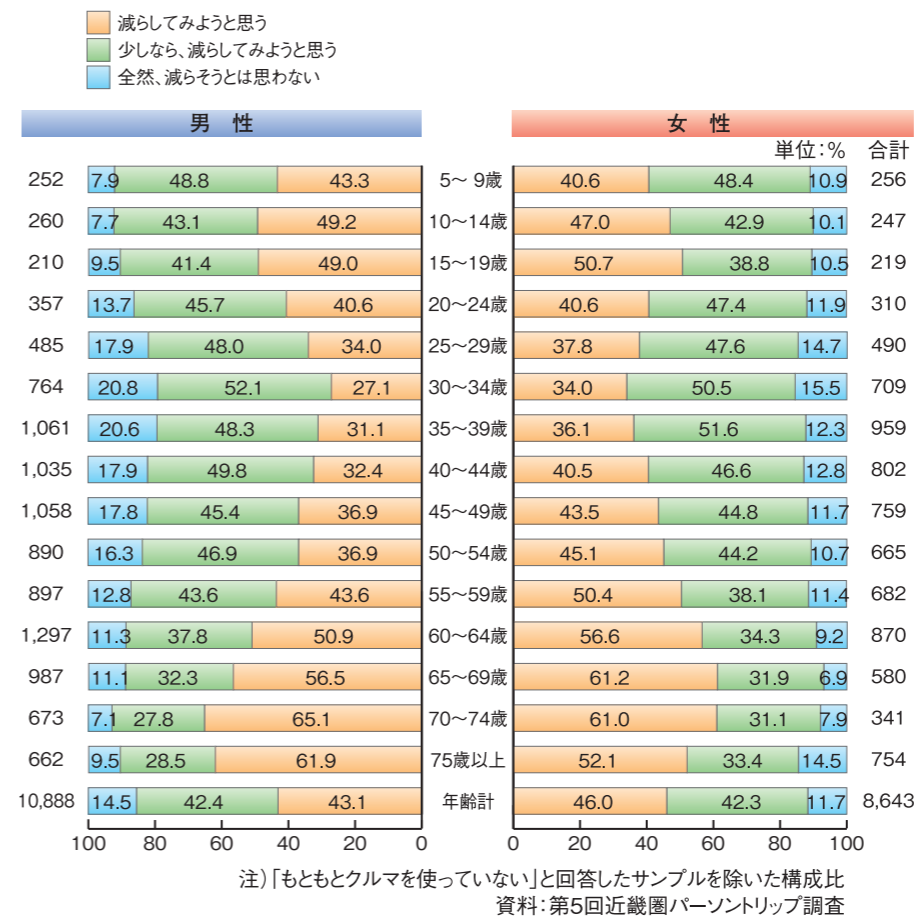


図43 性別・年齢階層別のクルマ利用を控えることに対する意向の構成比(平成22年)

- 性別・年齢階層別に、クルマ利用を控えることに対する意向の構成比をみると、男女とも20～30歳代で「全然、減らそうとは思わない」と回答した割合が高くなっています。
- また、年齢が高くなるにつれ、減らす意向が高いことがわかります。